



IP グループでの IP プールの追加

- [マニュアルの変更履歴](#) (1 ページ)
- [機能説明](#) (1 ページ)
- [機能の仕組み](#) (2 ページ)
- [モニタリングおよびトラブルシューティング](#) (2 ページ)

マニュアルの変更履歴



(注) リリース 21.24 よりも前に導入された機能については、詳細な改訂履歴は示していません。

改訂の詳細	リリース
初版	21.24 より前

機能説明

既存の CUPS プラットフォームでは、新しい IP プールが追加されると、この新しいプールの作成後に登録されたユーザープレーン (UP) のみが該当するプールを使用できます。既存の UP で新しいプールを使用するには、UP のリロードまたは UP の再関連付けを実行する必要があります。

IP グループへの IP プールの追加機能により、新しい IP プールが追加されると、APN 設定をもとに、既存の各 UP にこの新しいプールからチャンクを取得する資格があるかどうかの評価されます。UP に新しいプールからチャンクを取得する資格があれば、チャンクが UP に割り当てられ、以降のコール割り当てに使用されます。

次のシナリオで、UP は資格ありと判断されます。

- APN にプールグループが設定されている。新しいプールは、このプールグループに追加される。

- APNにプール名およびプールグループが設定されていない。新しいパブリックプールが追加される。



(注) APN で実施された変更は、UP が再関連付けまたはリロードされるまで有効になりません。

機能の仕組み

ここでは、IP グループに IP プールを追加する機能の仕組みについて簡単に説明します。

CP-CP ICSR 環境での新しいプールの追加

1. スタンバイ コントロールプレーン (CP) に新しいプールを追加します。
2. アクティブ CP に新しいプールを追加します。
チャンクは適格な UP に割り当てられ、同じものがスタンバイ CP にチェックポイントされます。
3. 両方の CP に対する `show { ip | ipv6 } pool-chunks pool-name <name>` コマンドが同期されているかを確認します。

CP-CP ICSR 環境でのプールの削除

1. アクティブ CP のプールを削除します。
2. `show { ip | ipv6 } pools` コマンドを使用して、すべての IP がスタンバイ CP の削除されたプールから解放されていることを確認します。
3. スタンバイ CP のプールを削除します。



(注) 同じ IP プールの IP Pool コマンドと Busyout コマンドを同時に追加すると、競合状態が発生します。この問題を回避するには、IP Pool コマンドと Busyout コマンドを別々に実行します。

モニタリングおよびトラブルシューティング

この項では、機能のモニタリングとトラブルシューティングのサポートに使用できる CLI コマンドに関する情報を提供します。

コマンドや出力の表示

この項では、この機能のサポートにおける `show` コマンドまたはその出力について説明します。

`show ip user-plane verbose`

この CLI コマンドの出力には、CUPS モードでの IP グループへの IP プールの追加機能をサポートする次のフィールドが表示されます。

- 動的プール数
- `apn-without-pool-name-v4`
- `apn-without-pool-name-v6`
- プールグループ
- プールグループ名

show ip user-plane verbose

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。